

第4分科会

学校との連携B

すべては出町っ子のために!!

～PTA・地域・学校の力を子どもたちの伸びる力に活かす～

研究発表PTA 富山県砺波市立出町小学校父母と教師の会

次代につなげ！萩山中PTA

～「発信」と「交流」を合い言葉に、より身近に感じられるPTA活動を目指して～

研究発表PTA 愛知県名古屋市立萩山中学校PTA

- | | | |
|-----------|-----------------|-------|
| ・コーディネーター | 名古屋市教育委員会社会教育主事 | 佐々 彰悟 |
| ・パネリスト | 発表校代表2名 | |
| | 元名古屋市PTA専務理事 | 篠田 達幸 |
| ・助言者 | 名古屋市立しまだ小学校長 | 谷藤 洋久 |

すべては出町っ子のために!!

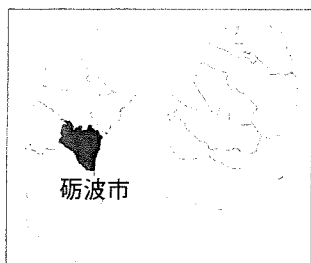
～PTA・地域・学校の力を子どもたちの伸びる力に活かす～

富山県砺波市立出町小学校父母と教師の会
会長 北村 将人

1. はじめに

(1) 地域及び学区の紹介

砺波市は、富山県の西部に位置しており、人口は約4万9千人です。庄川扇状地に広がる砺

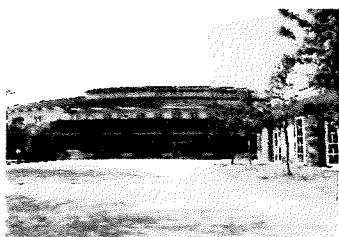


波平野には、屋敷林に囲まれた住居が点在する「散居村」が広がっており、チューリップ球根の産地としても知られています。市の中心部には、大型商業施設が揃い、便利で住みやすい生活環境が整っており、「全国住みよさランキング」で3位に入ったこともあります。

学区は砺波市の中心部であり、近くには、JR西日本城端線の砺波駅や商店街、大型商業施設などがあります。

(2) 学校紹介

砺波市立出町小学校は、本年度で創立149周年を迎え、15学級で440名在籍



校舎遠景

しています。「知性豊かで礼節をわきまえ、たくましい実践力を身につけた子どもを育てる」という教育目標のもと、あいさつができ、様々な活動に積極的に参加する子どもたちが育っています。近年では、合唱クラブがNHK全国学校音楽コンクール、管楽器クラブが全日本小学校バンドフェスティバルへそれぞれ出場するなど、全国で活躍する成績を残しています。

2. PTA組織

本校のPTA役員は、会長1名、副会長2名、庶務2名、監事2名、顧問2名(内1名は学校長)で構成されています。また、次の6つの委員会において活動を行っています。

〔学級委員会〕

- ・学級懇談会の実施
- ・レクリエーションや工作、自転車教室などの学年活動の実施
- ・ベルマーク収集及び親子清掃活動の実施

〔広報委員会〕

- ・年3回発行の広報紙「でまち」の発行
- ・Facebookを利用した情報発信

〔父親委員会〕

- ・通称「出町小学校BAG委員会」(B=ビオトープ、A=アドバイザー、G=グループ)との連携によるビオトープの維持・管理
- ・防犯協会との連携による防犯パトロール

〔母親委員会〕

- ・あいさつ運動
- ・1～3年生を対象にした絵本読み聞かせ

〔ネットワーク委員会〕

- ・通学路美化活動および危険箇所の点検
- ・プランターの植え替え(年2回)
- ・「こども110番の家」の訪問及び子どもたち向け使用マニュアルの作成

〔運営委員会〕

- ・役員と各委員長・副委員長により構成された総会に次ぐ意思決定機関

3. 特色ある活動とコロナ禍における状況

本校は、「父母と教師の会」としてPT

A活動を行っており、コロナ禍の中でも工夫をしながら特色ある活動を展開しています。次に、運営委委員会を除く5つの委員会の活動を順に紹介します。

(1) 学級委員会

学級委員会は、親子による親睦を深めるために学年単位の活動を企画・実施し



学区内での自転車教室

ています。1・2・5・6年生は体を動かすレクリエーションや工作などを行い、3・4年生は毎年、親子で自転車教室を行っています。自転車教室では警察や交通安全協会の方を講師に迎え、子どもたちは学校をスタートして学区内を回り、自転車の安全な乗り方について学びます。

また、年1回各学級単位で保護者が集まり、日頃の子どもたちとの接し方などのテーマを設け、保護者同士が悩みなどを話し合う学級懇談会を実施しています。

その他、年2回のベルマーク収集活動、全学年参加の夏休み親子清掃活動（グラウンドや学校周囲の草取り、側溝及び雨水マスの砂上げ）など、学校の美化活動にも協力しています。

ここ2年あまり、コロナ禍のために大勢で集まる学年活動の実施が難しい状況でしたが、今年度は、実施時期の感染状況や感染対策を講じながら、できる活動はほぼ行っています。

(2) 父親委員会

父親委員会は、その名のとおりお父さん方で構成されている委員会となり、各学級から自薦または他薦で選ばれています。

主な活動は、毎月1回地域の防犯協会と一緒に実施している防犯パトロールと校内に設置されているビオトープの整備です。特にビオトープの整備は地域の方々と連携をし、通称「出町小学校BAG委員会」として熱量高く活動しています。

① 父親委員会によるBAG委員会

この活動が始まったのは、2002年7月です。地域の方で



ビオトープ整備活動

昆虫や植物に詳しい方に集まっていたいただき、地域の方と子どもたち、保護者が手を携えて「ホテルが育つビオトープ作り」が始まりました。それから子どもたちがオタマジャクシを放流したり、総合的な学習の時間の一環として植物や昆虫の観察をしたりする身近な場として、子どもたちの成長に活かされています。

毎年必要な除草や取水槽・池の中の江浸いや枝の剪定などを父親委員会が担い続けています。その取り組みが2017年ビオトープコンクールにて「日本生態系協会賞」を受賞するなどの功績につながっています。

家庭で子どもたちと会話をする中で、「今日ビオトープでこんな虫おった!」とか「先週に比べてこんなに育っていたよ!」など、ビオトープに関する話題が出てきます。そんなときに地域の方々と作り上げてこられたビオトープが子どもたちの成長に欠かせないものになっていると実感します。

父親委員会は、防犯パトロールやビオトープ整備など、屋外の活動が中心となっており、コロナ禍にあっても以前と同様に活動を実施することができています。今後も、お父さん方が得意とする力仕事や夜間活動などで学校支援に取り組んでいきたいと思えます。

② 地域と連携したBAG活動

父親委員会の活動として紹介しましたが、出町小学校



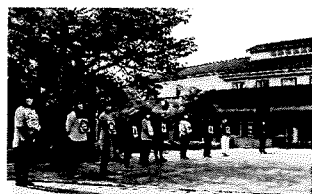
では、地域 地域有志の皆さんとの連携活動の有志の皆さんと連携し、BAG委員

会を作って、ビオトープ整備の活動に取り組んでいます。

子どもたちと一緒にビオトープの清掃などを行うことで、ビオトープへ足を運ぶ子どもが増え、メダカやホタルのための環境づくりとしてビオトープの植物を大切にできるようになったほか、ビオトープのことを家庭で話題にすることが増えたなどの効果がありました。また、地域の皆さんには、子どもたちや親との交流を通して、出町小学校をより身近に感じていただけるよい機会になっています。

(3) 母親委員会

母親委員会も、その名のとおりお母さん方で構成されている委員会となり、父



校門付近でのあいさつ運動
親委員会同様に各学級から自薦または他薦で選ばれています。

母親委員会の活動は主に2つあります。1つは「あいさつ運動」で、春と秋の2回実施しています。朝登校して来る子どもたちに、母親委員が校門から並んで元気よくあいさつをする活動です。大きな声であいさつすると、それ以上に大きな声であいさつを返してくれる子どもたちに、逆に元気を頂いています。

もう1つが、1～3年生対象の「朝の絵本読み聞かせ」で、こちらも年2回実施しています。子



絵本読み聞かせ

どもたちが本に親しみ、本好きになるきっかけになったり、友達のお母さんにも親近感がわいたり、保護者も子どもたちも温かい気持ちになれます。

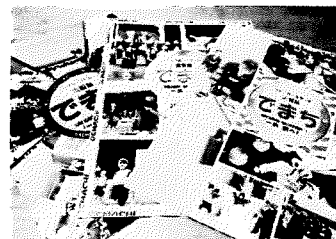
しかし、ここ2年間、コロナ禍の影響により、子どもたちと対面した活動を控えざるを得なくなりました。しかし、子

どもたちが楽しみにしていることもあり、母親委員会で話し合いを重ね、昨年度より絵本を読ん
録画撮影による読み聞かせ準備
でいる姿を録画撮影し、それを教室のモニターに映して子どもたちに見てもらい活動に取り組むことにしました。以前のように目の前で読んであげることはできませんが、それでも今できることを創意工夫し、子どもたちのためになるような活動を模索し続けています。



(4) 広報委員会

広報委員会は、年3回発行の広報紙の作成がメインとなります。毎年趣向を



広報紙「でまち」

凝らした紙面作成に力を入れ、過去には全国小・中学校PTA広報紙コンクールでも表彰されたことがあります。

また、父母と教師の会ではFacebookを持っており、広報委員会が中心となって、学校内外の活動を保護者や地域の方々に向けて発信



FBのQRコード

しています。しかし、Facebookを使っ
ての情報発信については、閲覧してもらえる方々が多い反面、学校のホームページの閲覧数が伸び悩むという問題もあるため、本年度よりFacebookには、父母と教師の会の活動を中心に載せるようにしています。

コロナ禍の影響で学校行事などの中止・縮小もありますが、広報委員会は、今日も広報紙やSNSに載せるためのネタを探して学校内外を飛び回っています。

(5) ネットワーク委員会

ネットワーク委員会は学区内の町内会

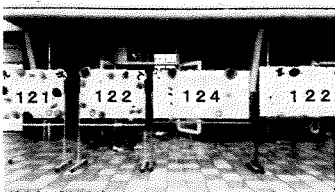
から選ばれた委員で構成されております。活動内容はクリーン作戦、通学路の危険箇所点検、「こども110番の家」訪問など、子どもたちが住む地域に関する活動が主なものになります。本年度は、親子で「こども110番の家」の利用方法や各家庭で「こども110番の家」の場所を理解しているのか疑問に思い、子どもたち向け利用マニュアルの作成や、「こども110番の家」の場所と学区内の危険箇所をマップ化する活動を重点的に取り組んでいます。

それらに加えて、年2回学校敷地内を彩るプランターの植え替え作業の実施



「笑顔で歩さま賞」活動

や、運動会でのマイカー利用を控えていただく取り組みとして、「笑顔で歩さま賞」という企画を実施しています。これはマイカーではなく、徒歩や自転車で来校された保護者をカウントし、それを点数化して各団が競うものです。賞として表彰されますので、子ども



点数を表示した掲示板

たちは自分の親に歩いてくるよう頼み、それに親も応え、付近の駐停車や事故を防ぐことができ、みんながハッピーになれる取り組みです。

活動内容は盛りだくさんですが、コロナ禍にあっても、今できることを毎年明るく楽しく取り組んでいる委員会です。

4. 成果と今後の抱負

本会のPTA活動は、学校に関すること、地域の関係団体と繋がっていることなど多岐にわたっています。いずれも「すべては出町っ子のために!!」との考えが根底にあり、次のように、学校を支える活動に

もつながっていると自負しています。

- ・ ビオトープの整備が、総合的な学習の時間に活かされている。
- ・ あいさつ運動や絵本の読み聞かせが、子どもたちの社会性を身に付け、感受性を磨くなど、心の教育につながっている。
- ・ 学校美化活動やプランターの植え替え作業は教職員の負担軽減に「笑顔で歩さま賞」活動は学校行事に楽しみをもたらすことにつながっている。

一方、PTAと学校や地域との連携強化の観点から考えると、以下のことがあります。

- ・ 広報紙やFacebookでの情報発信が、学校、家庭、地域に対して話題を提供している。
- ・ 親子での「こども110番の家」訪問や夜高祭りやチューリップフェア前後の準備協力や清掃活動は、地域の皆さんとの連携強化につながっている。

機会をとらえ、顔を合わせて話し合うことは、保護者間でも大切にしているところですが、地域に出向き、地域の皆さんと話し合う機会は、地域を知るばかりでなく、顔見知りになることにもつながります。このことは、地域の皆さんの連携や協力をスムーズにすることにもつながると考えています。

ここ数年のコロナ禍においては、なかなか思うような活動ができませんでした。今年度は、今できる活動を少しずつでも行っていますが、十分な資料が残っておらず、手探りで進めていかなければならないこともありました。やはり3年も経過すると、何をすることも初めてのよう状況が生まれることに困難は感じています。

学校にしかできないこと、PTAにしかできないこと、地域の方々だからできることがあると思います。PTA役員の大半が1年間で入れ替わってしまっていますが、今までの活動をしっかり引き継ぎながら、地域の宝であり、担い手である子どもたちの健全育成のために、学校と地域と一緒に取り組んでいきたいと考えています。